

9月号 幼稚園だより

8月8日に立秋を迎え暦の上では、季節はもう秋を迎えています。しかしながら、この8月は東京で猛暑日の記録を塗り替えるほど暑い日々が続きました。それでも、8月23日に処暑を迎えた頃には暑さも止み、朝夕は心地良い風が感じられるようになってまいりました。さて、コロナ禍となって3年目の夏休み。3年ぶりに行動制限のない夏休みということで、コロナ前に見られた帰省ラッシュや行楽地の賑わいが報じられていました。この夏、皆様はどのようにお過ごしでしたでしょうか。幼稚園にも帰省先や旅行先から元気なお便りをたくさん頂戴いたしました。ありがとうございました。夏休みの楽しい思い出話は、これからの日々の中でゆっくり子ども達から聞きたいと思います。

8月24日から3日間夏季保育がありました。久しぶりに会った子ども達は、夏休み前に比べて一回り大きくなり、日焼けした顔からは逞しさを感じました。そして、夏休みで静まり返っていた園内の空気が動き始めました。子ども達がいると幼稚園全体に空気の流れを感じます。これは、風通しをよくするために窓を開けるだけでは感じられない感覚です。夏休みに一回り大きくなった子ども達の存在感そして、力を感じました。

今日から始まる2学期は、みんなと過ごす時間もたっぷりあります。熱中症が心配で中々外へ出られませんが、やっぱり遊びの原点は外遊びです。日差しが和らいできたら外へ出てたくさん遊びたいと思います。秋の自然ともたくさん触れ合いたいです。そして、色々な遊びの中で身体をたくさん使う心地よさを感じ、友達と遊びながらのびのびと日々を過ごすことが出来ることを願い“のびやかに”を月主題として、ゆっくりと幼稚園での生活リズムを取り戻しながら子ども達と歩んでまいります。

2学期はプレイデー、クリスマス会をはじめ数々の活動があります。ひとりで頑張ること、友達と協力しないと出来ない事。ともすれば「〇〇ができるようになった」あるいは「出来、不出来」など目に見える結果や成長に意識が向きがちですが、この間子ども達は、様々な体験をします。辛いこと、楽しいこと悲しいこと、協同で活動した達成感等々。私達は、結果も大切ですが、それよりも様々な体験から学んで育つ心、つまり目に見えない心の育ちを大切にしたいのです。やさしさや思いやりの心も日々の生活体験から育まれていきます。どうぞ、ご家庭でも結果に一喜一憂することなく温かく見守って頂ければと思います。

「子どもは疲れを知らずに遊ぶ」と言われますが、実際には疲れのため注意力が散漫になったり、病気に感染しやすくなったりします。自己管理がまだまだ出来ない時期ですので、ご家庭でもコロナ、熱中症対策も含めて配慮してあげてください。そして、体調のすぐれない時は、無理をしないでお休みさせて上げて下さい。1学期中はたくさんのご協力、ご支援を賜りありがとうございました。2学期も数々の行事をはじめ、新入園児の募集活動も行われます。どうぞ、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

※毎年この時期のおねがいです・・・2学期となり幼稚園でも、自分のことは自分で！を励まし、応援してまいります。また、集団生活のルールを守る意識も少しずつ育ってきていますので、物を大切にしたり、けじめを持つことなども伝えてまいります。そこで、保護者の皆様にもお子様の成長を応援して頂くために、いくつかのご協力をお願いしたいと思います。

①時間を守ること・・・9時までの登園と降園時の速やかな帰宅を心掛ける。(自分で朝の仕度が出来るように)

- ②自分のことは自分で・・・幼稚園バック等の荷物の管理をお子様にさせて下さい。降園時にすぐに荷物を受け取る姿が見られます。お弁当箱も自分で出せると良いですね。
- ③物を大切に作る・・・自分の物に限らず、物を大切に扱うことと使った後は元の場所に戻すこと。
子ども達の成長には、保護者の皆様のご協力が欠かせません。毎年のお願いですが、宜しく願い申し上げます。

